



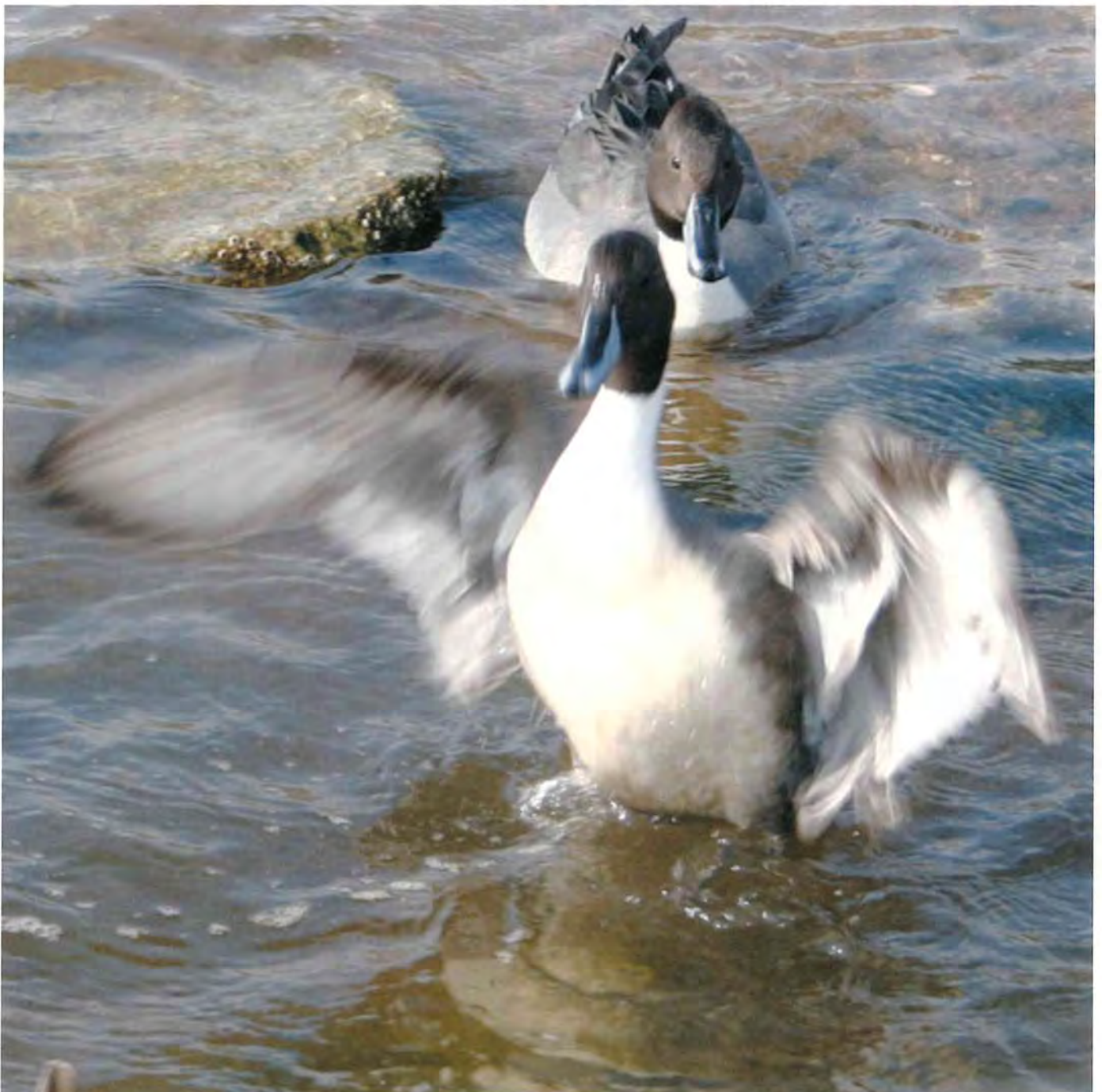
(社) 芦屋市シルバー人材センター

はつらつ 芦屋

設立20周年 記念号

2008・1

No.5



メールアドレス ashiya@sjc.ne.jp
ホームページアドレス <http://www.sjc.ne.jp/ashiya/>

カいっぱいばたくオナガガモ 芦屋川河口で
撮影 笹部成雄 (会員番号873)



林理事長から功労者表彰を受ける大原広臣会員と津山茂晴会員



20年以上在籍会員表彰（左から）末吉エミ、高橋嘉男、宮本允子の三会員

さらなる飛躍を

林理事長挨拶
 設立20周年記念式典は、多くの会員にご出席いただき、盛大に催すことができました。ご来賓の方々には公務ご多忙の中ご臨席をいただき、誠にありがとうございます。

また、平素はシルバー事業の運営にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

10月・11月の記念月間には、26名の実行委員の方々が計画された様々なイベントに約200名もの会員が参加し、元気なシルバーを地域にアピールできたのではないかと喜んでおります。



10年以上在籍会員表彰を受ける会員の皆さん

設立20周年記念式典の準備に取り組んで1年余りの11月18日、遂にルナホールでの式典が幕を開きました。

一面、ピンクの花が咲いたような輝きと共に、軽快なリズムで潮見中学校吹奏学部によるオープニング。大いに盛り上がったところで最古参の大原会員が力強く開会を宣言。

林理事長の挨拶に続き、山中芦屋市長始めご来賓の祝辞をいただき、永年貢献された発注者へ感謝状を贈呈。功労者、永年会員、事務局職員の表彰が行われました。

スクリーンに投影された「センター20年の歩み」は、中原副理事長の解説でコンパクトに歴史が蘇るユニークな試み。

桂こけ枝さんの「ほのぼの健康嘸」に会場は爆笑の渦。

続いて、北野会員のアコーデオニオン伴奏で、懐メロの大合唱。しばし会場は青春時代の雰囲気になりました。

最後は豪華賞品の抽選会。当選発表の度に、拍手と歓声・・・和気あいあいの内に閉幕となりました。なお、現在の登録会員は遂に600名を超え、式典の出席は327名にのびりました。

ご承知のように、シルバー人材センター事業の理念は、「自主・自立、共働・共助」でございます。

この度の活動を契機に、20周年記念事業のキャッチフレーズ「さらなる飛躍」を合言葉に、「シルバー人材センターのイメージアップ」を目指して頑張つてまいりますので、なお一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会員の皆様がいままでご健康で、安全に就業していただきますよう心からお祈りし、ごあいさついたします。

おめでとーう 設立20周年



来賓をはじめ参加の会員で満員の会場



芦屋ハートフル福祉公社、エルホーム芦屋、コープデイズ芦屋の三事業者に感謝状贈呈



記念講演の桂こけ枝さん



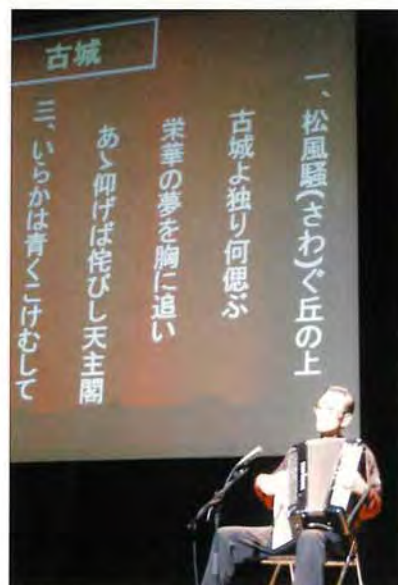
オープニングで素晴らしい演奏を披露する潮見中学校吹奏楽部員



特等当選の佐々木会員



会員もくじ引きに参加



北野会員のアコーディオン伴奏でスクリーンの懐メロを合唱



揃いのプレーカーで記念品の準備に大わらわの実行委員

はつらつ会員六百名超す

ボランティア活動



皿回しが上手になりました 新浜保育所



高いところは抱っこで 緑保育所



刈り払い機で雑草退治 大東保育所



紙とんぼの飛ばしっこ 打出保育所



きれいな花が咲きますように 岩園保育所



給食に舌つづみ 精道保育所

和やかに園児と交流

20周年記念事業の一環として、市内の保育所を巡り、清掃と交流のボランティアが行われました。園児と一緒に窓ガラス拭きに汗をかき、皿回し、紙とんぼ、お手玉などで楽しい一日を過ごしました。こご馳走になった給食の美味しかったこと。

○ 保育所ボランティア (清掃等及びこどもとの交流)

①緑保育所	10月25日(木)	窓掃除・除草	12人
②打出保育所	10月30日(火)	窓掃除	9人
③精道保育所	10月31日(水)	窓掃除・砂運び	12人
④岩園保育所	11月 2日(金)	花植え・除草	11人
⑤新浜保育所	11月 5日(月)	溝掃除	9人
⑥大東保育所	11月 6日(火)	窓掃除・除草	12人
合 計			65人参加

- * 子供たちに手作りおもちゃのプレゼント
- * 保育所に雑巾30枚ずつ寄贈

カワイイお礼が届きました

ボランティアで訪れた保育所のこどもたちから、素敵な手作りのお礼が届きました。心のこもった絵や写真は、事務局入り口に飾られ、一服の清涼剤となっています。



岩園保育所



打出保育所



緑保育所



大東保育所



新浜保育所



精道保育所

ボランティアでベンチを寄贈

皆さん！市内バス停等で見かけられましたか？
設立20周年ということで、20ヶ所に設置しました。
市民の方々にご利用いただければ嬉しいですね！



臨港線のバス停に置きました



力を合わせての組立て作業

初参加に意気軒昂

パン食いゲームに懸命の口裁き



玉入れも紅組の圧勝でした



秋晴れに恵まれた芦屋市高齢者スポーツ大会に、我がシルバー人材センターから27名が初参加しました。

各種のリレーやゲームに皆さんの活躍は素晴らしく、シルバーが加わった紅組が白組の三連勝を阻止。

「勝てたのは元気なシルバーさんのお陰。来年もきてね！」と賞賛しきりでした。

(10月7日川西運動場で)



3人そろって見事なスタートダッシュ



会場には緑の「のぼり」が鮮やか



総勢27名、がんばりました

お若い
です
ね!

体力測定

元気で働くためには体力が大切。会員各自に体の能力を知ってもらうため、体力測定が企画されました。柔軟性、握力、瞬発力などが数字で表示され、殆どの会員は平均点を上回る好成績。企画した事務局も感心しました。

(10月19・20日 芦屋市立体育館で)



腕を思いっきり伸ばして準備体操



前屈姿勢もかなりの柔らかさ



障害物越え急歩もらくらく



軽やかに反復横跳び



頑張りました上体起こし



も~ちょっと伸ばした~い



ジャンプ一番

傑作がずらり楽しい会場



式典同時開催
会員作品展

努力の結晶 感嘆しきり



丸豆人形 山村潤子



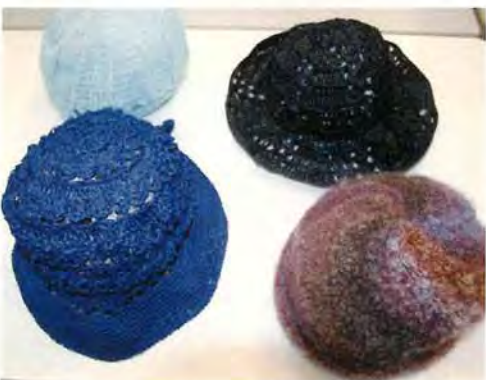
タペストリー 宮本允子



刺繍 大本弘子



編み物 坪内美津子



帽子 武田美幸



ハンガー 浅井カズ子

シルバー会員には、実に素晴らしい特技をお持ちの方がおられますね。人生を、才能と経験そして努力で、有効に活用されていることがこの作品展で一目瞭然。一人でいろいろな種目に挑戦されていて、その全部を紹介したいのですが・・・。残念ながら誌面の関係で、絵画は裏表紙「はつらつギャラリー」への掲載となりました。ご了承をお願いいたします。(順不同)

(11月18日・19日 芦屋市民センターで)

◆ はつらつ 芦屋 第5号 ◆ 20周年記念事業



和箆筒と照明 山中重信



ドールハウス 竹野勝久



五葉松 大原広臣



時計 一瀬夫妻共同制作



「お祭り大好き」 中原伸二



「弥生の朝は桜々」 有馬 忍



プリザーブドフラワー 畑 和子



写経 須川 美子



着物刺繍 大坪満里子



特別実演 電気機関車 一瀬奎次郎



絵巻物「方丈記」部分 岡村喜美子

●お役に立ちます、シルバーパワー
平成19年度 兵庫県シルバー人材センター事業推進大会
 社団法人 兵庫県シルバー人材センター協会



表彰状を手に喜びの皆さん 神戸・松方ホールのデッキで

今年二十歳を迎えた芦屋市シルバー人材センターは、恒例の兵シ協事業推進大会でも表彰の栄に輝きました。団体表彰20年を始め20年会員4名、10年会員4名です。
 兵庫県下のシルバー会員は現在4万人を超える勢い。各センターの代表者からの体験談も力強く、熱気が感じられました。
 また、会場ロビーでは、会員手作りの即売会も行われ、山村会員のねずみの置物が好評でした。

(10月23日 神戸・松方ホールで)



中嶋会長(右)から20年団体表彰を受ける林理事長



20年会員代表の大原会員(左端)



10年会員代表の佐々木会員(中央)



干支のねずみの置物を展示即売する制作者の山村会員

紅葉まっさかり

秋の有馬へ

11月27日、紅葉の有馬へ会員研修バスツアー。今回は有馬温泉「向陽閣」での昼食と温泉でした。近場とあって96名の参加者があり、バス2台に分乗。約40分ほどで有馬へ到着、なごやかで賑やかな宴会のあとは恒例のカラオケ大会と有馬の湯で、日頃の汗を流しました。道中のドライブウェイからは、濃い緑、うすみどり、黄色から紅色へと、見事なグラデーションの紅葉が楽しめました。



瑞宝寺公園



津山会員の首頭で乾杯!



カラオケも楽し



お疲れ様でした。楽しかったですね



向陽閣の庭の紅葉も見事でした

ワーク・ア・ラ・カルト

青パト隊

『それって、本
当にシルバーの
仕事？ いや実
は本当なんで
す。』

赤色灯ではあ
りませんから、
勿論警察の車
や、消防の車で
はありません。

ガス会社でもあ

りません。もうこの仕事が始まっ
て一年以上になりますから、多分
市内をパトロールしているのを見
られた方もあるかと思う。白色の
ボディに（社）・・・シルバ
ー・・・の横文字が入っています
から我がセンターの車です。芦屋
市役所から発注を受け精道中学校
区の児童の下校時の通学路の安全
を見守るためパトロールしている
のです。

仕事は学校が通常授業（春夏冬
の長期休みを除く）をしている月
曜日・金曜の午後、下校時の二〜三
時間、青色灯を点灯して予定順路
に従ってパトロールしています。

搭乗者は二名一組で、現在二組

が交代で勤務しており、全員が芦
屋警察の講習を受け、認可を受け
た方々です。

TVや新聞の報道では、児童の
下校時の各種の犯罪が多発してい
ます。地域の子供の安全確保に向
けて各町内や自治会でも防犯グル
ープを作ったり、子ども見守り隊
を作って、登下校時に自宅前に出
て通学を見守る、家の窓から見守
る、買い物や犬の散歩を下校時間
帯に合わす等々して大勢の目で見
守る必要性が増大してきています。

我が青パト隊さん！皆さんの任
務は非常に重要です。毎日ご苦労
様です。

取材 一瀬 奎次郎



ペットご披露



ノン＆ココ



6年前のある雨の日、茂
みの中で猫の「ココ」は泣
いていました。まだ、目も
見えてない生後2、3日だ
ったでしょうか。

目が見えるようになると
当時12歳の犬の「ノン」を
「兄」と思い、スポイドで
ミルクを飲ませた家内をい
まだに「母親」と思ってい
ます。

現在身長60センチ。シッ
ポを入れると90センチ、体
重6.6キロの「青年」です。
シャンプルー、爪切りそして
ドライブが大好き。ダッシュ

ボードに両手をかけてキョ
ロキョロ。

信号待ちの横のドライバ
ーがびっくり。また、バス
タブに前足をかけてのシャ
ワーが好きなチョット変わ
ったココです。

一方、ノンは現在18歳半。
身長50センチ、体重5キロ
の我が家で一番の「年長者」
です。最近少し耳がとおく
なり、自慢の丹波黒豆のよ
うな鼻も白ばみ、目は白内
障になってきました。仲の
よい「兄弟」です。

鈴木 一生

(会員番号1039)



健康の秘訣

お酒大好き83歳

西本イサさんの巻

(会員番号242)

朝、目が覚めたら
コップ一杯のお水を
頂きます。今日も一
日元気で感謝してと、
心にちかいます。

食事の事ですが、
あまり気にしない方
なのです。時間もば
らばらですが、何で
も食べたいものを喜
んで頂きます。夜の
食事が一番たのしいで



笑う門には・・・

”よく飲みますよ！”
す。好きなお酒があるからです。

毎日、疲れないように気をつけ
ています。お仕事のときも、元氣
よく歩くのが老化防止になります。

一人になって十年になります。
寂しくないということはない。や
はり寂しいです。だから明るく元
気に何でも喜んで笑うことにして
います。若かったころの楽しかつ
た思い出を大切に、人生ある限り
物事にチャレンジします。

しかし、お仕事の休みの日はだ
らしなく一日が終わり、少し寂し
く一人でお酒を飲みに出かけま
す。「イサ」も歩けば棒に当たる。
誰かさんとお会い出来るかも？と
楽しみにでかけます。

をもらいます。

頑張ります。

皆様もお元氣でね。

日頃活発なイサさんも
カメラの前では少し緊
張ぎみ

老舗の味

割烹 三佳

みよし

芦屋のグルメ



三代目 鳥谷充彦さん

人もいるが「うちのだけはと足を
運んでくれるお客さんも」と三代
目の鳥谷充彦さん。

火であぶった後は関東流に蒸す
ため、身はふつくらと柔らかく余
分な脂が落ちて臭みが抜ける。

たれも自慢の一つ。地震で店は
全壊したが「壊れた店の畳の下か
らたれの容器を見つけたときはほつ
とした」と振り返る。

昭和初期から、ウナギの身を浸
しては注ぎ足されてきた秘伝のた
れは、脂でコクはあるが、しつこ
くない。

職人さんの手で、一匹ずつ蒸し
加減、焼き加減を調節したかば焼
きを、甘辛い香りと照りにひかれ
てがぶり。

とろけて、脂の味が口いっぱい
に広がった。

取材 山本 徳高

創業八十年。関西
では珍しい江戸前の
味を守るお店です。
一番人気はうなぎ丼。
土用の丑の日は、
五百匹をさばく。宅
配も受付けている。も
ともとウナギは味に
くせがあり、苦手の



(並) うなぎ定食
2,310円

定休日 木曜日
住所 芦屋市大榎町・本通商店街
☎ 0797-22-3363
営業時間 11:30~16:00
17:00~21:00



楽吟集

宮本 允子

(会員番号26)

このコーナーも5回目、そろそろ苦吟集となつて参りました。それ以上に読者の皆様はもう、あきあきではないでしょうか？

今回は、最近のわが日常を詠みました。

箸止めて天下国家を語る夫

聴衆我は喉つまるなり

ご飯の時ぐらい楽しい話をしたいもの。テレビの議員先生に向かつて、大声で意見をお述べになつても、そりや聞こえませぬ。

新聞を開けば殺人子の虐待
詐欺ひったくり汚れた役人

なんで日本はこんなになつてしまったの？本当に心から嘆かわしい。

警報器「あ・うん」の呼吸で手渡せば

「お宅らご夫婦？」と聞く発注者

警報器取り付け助手の仕事も大分慣れて来ました。

こんなことでもない限り、よそのダンナ様と二人きりで出かけることなどありませんよね。ちよつと楽しい・・・。

百二歳と九十二歳で住むという
ただ敬服し警報器つける

驚きました。超高齢の姉妹、二人暮らしとのこと。キッチンと片付いた家の様子に感心すると、穏やかにヘルパーさんへの感謝の言葉を語られました。

「ママのより美味しい」という褒め言葉
ガゼン張り切るシルバーシェフは

お料理を作りに行く家庭では「美味しい」「有り難う」の言葉はなにより嬉しい。家では「ご苦労さん」のねぎらいも、称賛の言葉もない。主婦の仕事は空しい。

間違いを気づきしときにリセットの
ボタンが欲しい我が日常は

スカタン、物忘れは私の日常です。失敗したときリセットボタンを押したり、パソコンの「戻る」をクリックするようなことが出来ればどんなに良いでしょう。

子育てしかり。夫選びもしかり。これは、夫も同じ思いでしょう。

雲海

白井 通江

(会員番号1332)

ふんわり 真白な 雲海
綿帽子の様に やわらかく
甘く おいしそう

指で つまんで 食べようかな

やわらかく 暖かそうな 雲海

真綿の様に 軽く

包み込んで くれる優しさ

そつと ねころんで

眠りたい

自然のおりなす

神々しい このすばらしい輝き

広く 白い雲海

母に逢つた様に ひきこまれそうな

不思議な 現象



森脇 一成

(会員番号613)

寄居虫が 消えた干潟に睦五郎

沢蟹も一息ついた ダム工事

伐採に聞く耳もたぬ 蟬時雨

スポーツ大会に参加して

三谷 千尋

(会員番号1199)

午後は希望者全員で踊るフォークダンスがあつて男女のペアが次々に変わつて行くのであるが、左隣のおじさんは手を繋いだ女性と離れるタイミングが解らずいつまでも手を握つていたので、私は度々彼を押しやつて踊つていた。

市長と楽しく



市長と並んで踊る三谷さん(右) 川西運動場で

それに引き替え右隣の市長(偶々そうなった)はなかなかのもので、ス

トップも馴れたもの、「市長、どうしてそんなに上手いのですか」と聞くこと。「毎年あちこちで参加して覚えたんです」とのこと。なかなか市民へのサービスピリットが旺盛である。例年祭りのこのシーズンは日中もまだ日差しが強く、祭り見物も大変であるが、ご多分に漏れず今日も暑い一日であった。ゲームの最中は勿論、次ゲーム待機中も直射日光の下で、どなたも良く耐えて無事終了したことは驚きである。

フォークダンス

秋晴れの今日、第35回大会に今年からシルバー人材センターも参加することに、誘われて27名の一員として参加してみた。

市内各町の老人会が数十名の参加者を率いて集まるので、その総数は数百名以上になる。人材センターの仲間も、新人に属する私などは知らぬ方ばかりである。

しかし、自分が参加した「しりとりにレレ」と「紅白球入れ」ではそれぞれ勝利すること出来、各5点を獲得して、シルバー人材センターの所属する紅組の86対70での優勝に多少貢献することができた。

60歳以上が2万5千人を超える芦屋市の超元氣な年寄りばかりが集まっているのである。うが、それにしても皆お達者である。来年もシルバー人材センターの所属チームが勝利するのかも。

編集後記

新年明けまして

おめでとうございます

散水から始まった仕事も、朝夕の犬の散歩、そして二年半来続けております家事援助へと広がり、この度、広報委員として設立20周年の節目となる第5号の編集後記を担当することになりました。

創刊以来、蓄積されたノウハウで編集も行われ、今回は16頁の増頁となり、無事この20周年特集号をお届けすることが出来ました。

そして、今号から新しく「ワーク・ア・ラ・カルト」のコラムを設け、仕事内容を順次紹介していきます。皆様の今後の就業のご参考になればと、広報委員一同思っております。

また、「はつらつギャラリー」では20周年記念作品展より作品の一部を抜粋掲載となりました。

第6号の編集も近々始まります。

皆様の数多くの投稿を広報委員一同お待ちしております。

鈴木 一生

はつらつギャラリー

20周年記念作品展

絵画の部

「新しい年」(刺繍) 紀之定和子



「花さくろ」 白井通江



「果物」 津山和子



「高座の滝」 斎藤恒之



「ルリの夢」 木村三代子



「北摂の晩秋」 高橋 嘉子



「S嬢」 鈴木一生



「彼岸花」 津山茂晴

